

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ 28

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見てください。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「出石の文化財」

出石地域では、古事記や日本書紀に多く記述がある出石神社や、但馬守護であった山名氏、出石城と出石城下町など、歴史に深く関わった文化財が数多く指定されています。

出石地域を巡る

出石神社周辺には、発掘調査によって宮内遺跡や黒田遺跡など弥生時代の集落があったとされ、古くから開けていた地域の一つです。

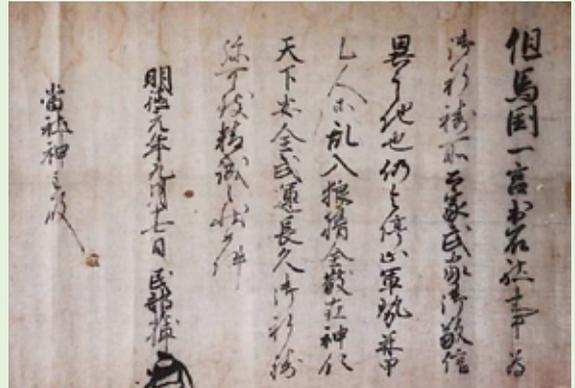
出石神社は、八種の神宝を携えて朝鮮半島から渡来してきたといわれる天日槍を祭る神社で、奈良時代から但馬一宮として信仰を集めてきました。神社には「山名氏清安堵状(家則・家朝補任状・軍忠状ほか2通)」(市指定書跡)など、但馬守護であった山名氏の文書が残され、出石藩主となった小出氏、仙石氏の馬印や甲冑なども奉納されています。また、明治時代の学者 桜井 勉が脇差を寄進するなど、但馬一円の大社として、代々の領主や文人らからも厚い信仰を受けてきました。

山名氏は、出石神社の背後に此隅山城を築城し、山裾には城下町も整備しました。此隅山城の落城後には、より堅固な有子山城を築きましたが天正8年(1580年)にこれも落城。慶長9年(1604年)、小出吉英が山裾の居館を大改修して出石城を築き、併せて城下町も整備しました。

宗鏡寺は此隅山城下にあったものを、吉英が沢庵の勧めで現在地に再興したといわれています。このため宗鏡寺には出石藩主の廟所があり、沢庵和尚自賛頂相(市指定絵画)など、ゆかりの文化財が所蔵されています。

城下町は、明治9年の大火で甚大な被害に遭いましたが、町割や町屋の意匠をよく残していることから、一帯が豊岡市出石伝統的建造物群保存地区に選定されました。また、明治34年に開館した芝居小屋「永楽館」(市指定建造物)は会館当時の形に復原され、毎年、永楽館大歌舞伎を上演しています。

※太字で記載している箇所は、これまでに紹介した文化財です。



▲山名氏清安堵状



▲有子山城跡主郭から見下ろした出石城下町



▲大歌舞伎のまねぎが上がった復原後の永楽館

語句の解説

- ・安堵状…領主などが支配下の武家・社寺の領地を保証する証文
- ・自賛頂相…自作の詩や歌を添えた禅宗の高僧の肖像画

発行/豊岡市
編集/政策調整部秘書広報課
FAX 23-1124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
竹野 ☎47-1111
出石 ☎52-3111
城崎 ☎0001
日高 ☎1111
但東 ☎544232-1100